

2019年度3Q標準案

網管理專門委員会

網管理専門委員会

通信ネットワーク運用管理
SWG

JT-M3372 (新規標準)

通信サービス品質評価
SWG

標準化対象

【新規：1件，改定：0件，廃止：0件】

TTC標準		対応する国際勧告
JT-M3372 (新規第1版)	クラウド対応 通信管理システムの リソース管理の要件	ITU-T M.3372 Requirements for resource management in cloud-aware telecommunication management system

Agenda(通信ネットワーク運用管理SWG)

新規標準案概要

- JT-M3372

クラウド対応通信管理システムのリソース管理の要件

1.JT-M3372の概要(1/3)

現在、クラウドコンピューティングは、インターネットサービスだけでなく、通信ネットワークでの主要な技術の一つである。多くのクラウドコンピューティングアプリケーションが様々な分野で利用されてる。クラウドアプリケーションをクラウドサービスカスタマ(CSC)に提供するためには、クラウドサービスとクラウドリソースを効果的に管理する必要がある。

既に、JT-M3070において、クラウドコンピューティング管理レイヤリングがカスタマ管理、製品管理、サービス管理及びリソース管理により構成されることが示されている。特に、カスタマ管理及び製品管理は、BSS機能コンポーネントにマッピングされ、サービス管理及びリソース管理は、OSS機能コンポーネントにマッピングされる。

本勧告は、クラウドサービスの品質保証及び支援するため、クラウド対応通信管理システムのコンピューティングの“リソース管理”の機能フレームワーク及び機能要件を説明している。特に、機能フレームワークの構成、及びフレームワーク内の各コンポーネントの機能を示している。

更に、クラウドコンピューティング管理の一般的な背景と現状についても分析しており、クラウドを意識した通信管理システムのリソース管理の機能フレームワークと機能要件を導入することの利点を説明している。

1.JT-M3372の概要(2/3)

クラウド対応管理システムのリソース管理のための一般要件

クラウドコンピューティング技術の発展に伴い、クラウドコンピューティングの効果的な管理がますます重要になっている。リソース管理の観点から、通信管理システムは、伝統的な通信リソースの管理を提供するだけでなく、クラウドコンピューティングリソースの管理も提供すべきである。

クラウド対応通信管理システムにおける一般要件は以下の通りである。

- リソースオーダ要求のE2Eライフサイクル管理を含む、クラウドサービスのリソース管理の要求実現管理支援
- 監視、分析、報告及び機能試験等を含むクラウドサービスのリソース品質保証管理支援
- クラウドリソースのためのリソースカタログ及びリソース在庫管理機能の提供
- サービスのリソース使用量管理支援

一般要件を踏まえて、機能フレームワーク及び機能要件の詳細が示されている。

1.JT-M3372の概要(3/3)

JT-M3070で規定されたクラウドコンピューティング管理のレイヤリング及びOSS/BSSコンポーネント上でのリソース管理の位置づけを図1,図2に示す。

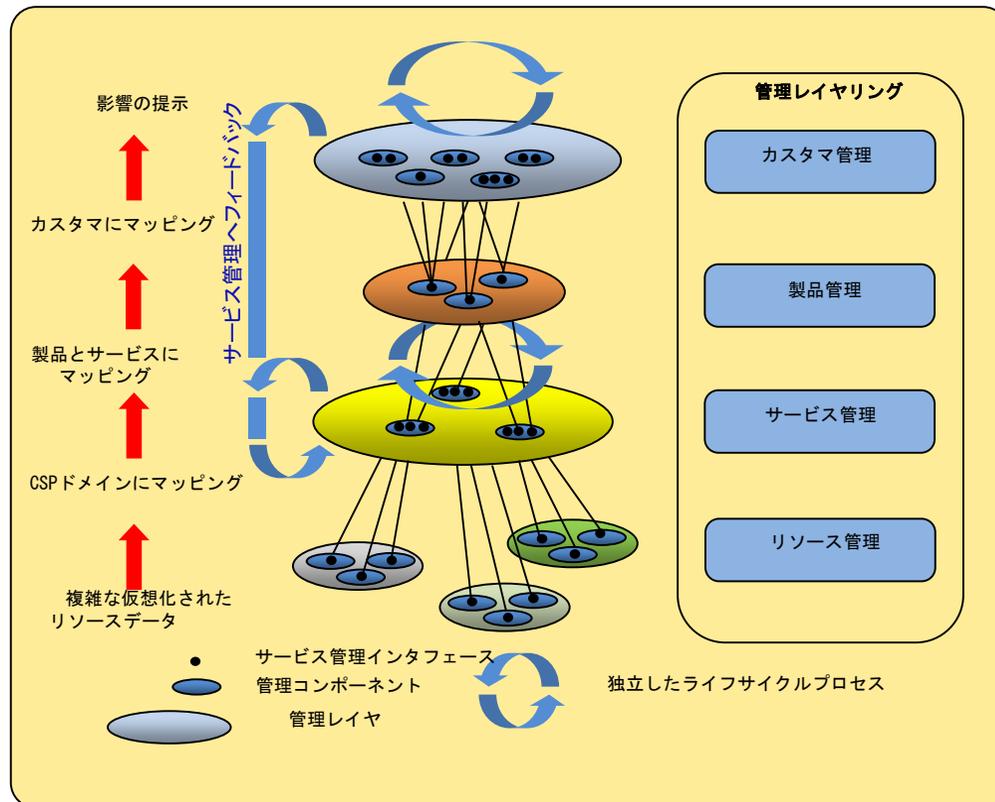


図1 クラウドコンピューティング管理のレイヤリング

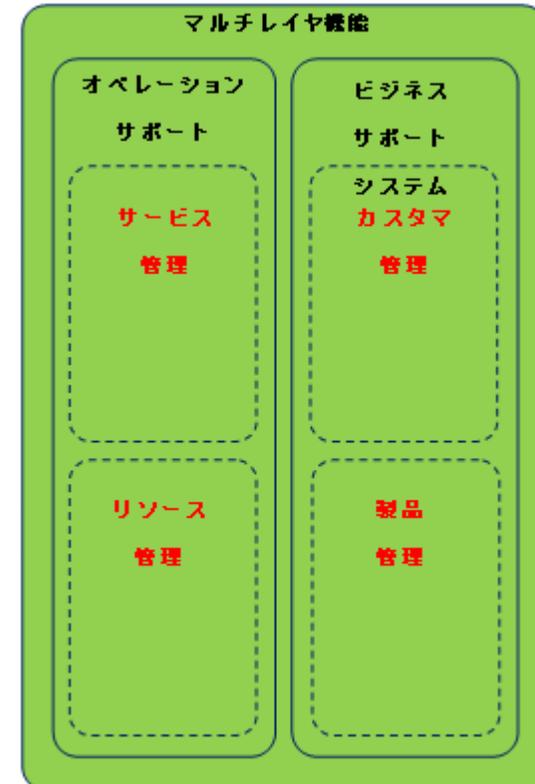


図2 管理レイヤに応じたOSS/BSSコンポーネントの分割

JT-M3372の目次

1. スコープ
 2. 参照資料
 3. 定義
 4. 略語
 5. 規約
 6. イントロダクション
 7. クラウド対応管理システムのリソース管理のための一般要件
 8. クラウド対応管理システムのリソース管理のための機能フレームワーク
 9. クラウド対応管理システムのリソース管理のための機能要件
 - 9.1 リソースオーダ管理
 - 9.2 リソース性能管理
 - 9.3 リソース障害管理
 - 9.4 リソース試験管理
 - 9.5 リソースカタログ管理
 - 9.6 リソース在庫管理
 - 9.7 リソース使用量収集及び配布
- 参考文献